

## 囲碁・将棋大会

市内の囲碁・将棋同好会の6月の例会結果です

### 福津市将棋同好会

今回は、9月8日(土)10:00から大和町公民館で開催します。

	1位	2位
A	北原 秀誠	滝口 純一
B	宇都 一男	工藤 幸夫
C	大隈 勲	佐野 五郎
D	中村 勝利	染森 和治
E	邑中 芳明	加口 修
F	三村喜久治	

連 村上 良明 ☎080-3973-8932

### 福津市囲碁会

今回は、9月9日(日)9:50受付締め切りで、市中央公民館和室で開催します。

	1位	2位
1	大野 政嗣	尾崎 銀二
2	吉田 幸博	猪俣 征雄
3	松本 正美	満生 忠雄
4	松尾 正久	廣瀬 博喜
5	永島 和美	林田 健介
6	太田 晃	加村 光義
7	柴田 繁男	木植 宏
8	奥川 和孝	中島 賢明

連 井本 雅文 ☎090-9796-1099

紙面の都合上、上位者のみの掲載です。

### 福津市実年囲碁会

今回は、9月4日(火)、9月11日(火)10:00受付締め切りで、市中央公民館和室で開催します。

	1位	2位
1	宮崎 良一	有山 伸司
2	田中 英則	佐藤 弘
3	箱島 孝	牛垣 徹
4	寛 芳武	満生 忠雄
5	広渡 直	山口 忠男
6	花田 和彦	石井 隆夫
7	佐藤 亘弘	灘邊 英雄
8	本畑 道明	宗平 正
9	田中 敏一	荒巻 渉
10	山本 正三	牧田 英昭
11	松本三知男	柳田 正尚

連 満生 忠雄 ☎43-2420

### 津屋崎囲碁同好会

今回は、9月23日(日)9:30から福津市文化会館で開催します。

	1位	2位
A	今丸 眞	魚住 洋二
B	林田 健介	井本 雅文
C	佐藤 亘弘	永島 和美
D	島崎 一秀	田中 敏一

連 永島 和美 ☎52-5610

(敬称略)

# 地域の日

●市郷育推進課 ☎62-5078

奇数月の第3土曜・日曜日は「地域の日」です。地域で活躍している団体などを紹介します。地域の活動に参加しませんか。あなたの団体もご紹介ください。

## 市民水泳大会を開催しました



▲大会後、笑顔を見せる参加者たち

市民水泳大会が7月1日に光陵高校プールで開催され、小学生から85歳までの59人が素晴らしい泳ぎを見せました。プールが深く足が届かないこととびつくりした小学1年生の山内結楓さんに「私が一緒に泳ぎます」とサポートしたのは光陵高校水泳部員。無事25mを2人で泳ぎきり、山内さんは「大会は初めてで緊張したけど、嬉しかった」と話していました。

# あじさいロード

[地域婦人会だより]

このコーナーでは、地域婦人会の活動を紹介します。得ることの多かった社会見学

地域婦人会員41人は6月26日、北九州市若松区の北九州次世代エネルギーパークに行きました。

最初に、北九州工業都市の発展と繁栄が、空と海の環境汚染をもたらしたため、子どもたちの健康を心配した北九州市の婦人会員が声を上げたことをDVDで学びました。この運動はその後、市民、企業、行政が一体となった取り組みに広がり、今は、環境庁から「星空の街」に選定されるまでになっています。

次に、日本のエネルギー自給率が8%という説明を聞いた後、1枚の羽根の長さ

が大型バス程という風力発電のタービンの真下まで行き、その巨大さに驚きと大きな期待感を抱きました。

その後、若松区の高塔山の紫陽花公園から新原・奴山古墳群展望所へ行きました。そこで、ボランティアガイドから説明を受けましたが、改めて世界遺産に登録された意義を感じました。

全体を通して、日頃の生活を見直すきっかけとなった「得ることの多かった社会見学」でした。

問い合わせ 乙藤 ☎42-0157

副会長 古閑由美

副会長 古閑由美

# アンビシャス広場

●市郷育推進課 ☎62-5078



アンビシャス広場とは、子どもたちが放課後や休日に地域で安心して立ち寄りことのできる「居場所」です。

## みやじアンビシャス広場



▲スタッフの話をよく聞いて、かわいいフキンができました

みやじアンビシャス広場は、毎週金曜日の午後4時から5時まで、宮司コミュニティセンターで活動しています。

6月に新宮町で行われた、第12回子どものまるごと体験フェスティバルでは「ちくちくフキン」のお仕事ブースを担当しました。ハートやさくらんぼなど7種類の中から好きな下書きを選び、線に合わせてなみ縫いで仕上げていきました。

夏休み期間中は、ラジオ体操や料理、もの作りなどの体験教室を計画します。

# 心の歌

市内の愛好会のかたの作品です。一般投稿の締め切りは、前月15日です。

受付 市中央公民館 ☎43-2100 FAX 43-2868

### 【虹の会】

集落に活気溢れる夏休み  
歓声に絆深まる大花火  
偶数の月に手を取り親子と  
公園に夏のおとずれセミの声  
父酔って箸をタクトに数え唄  
ひとつまみ塩足す母のおまじない  
誰とでも手がつなげそう雲の上  
難一字また辞書を引く物忘れ  
渡る世間のらりくらりと生き延びる  
宿敵と戦ういたみ老いの坂  
終章へ向かう準備のページ繰る  
てくてくと歩く道です終の章  
雨の日が続く影法師のぼやき  
天職の道てくてくと歩くバカ  
こぼれ種落ちたところで実を結ぶ  
ゆで卵つるんと剥けて今日は晴れ  
五時起ききの散歩が日課カンナの朱  
三日目のカレー家族の味になる  
風鈴の音色が変わる半夏生

### 【わたつみ短歌会】

五月雨の音も優しき庭先に  
平成を生ふるカボックの三十年  
雨音はささやくようにはじまりて  
いつか寝息と同じリズムに  
ひい孫の背丈がぐんと伸びてきて  
婆を見おろし手を差しのべる

真夏陽を耐えねばならぬ芋が  
白き葉裏で息を吐いている  
梅雨入りとは名ばかり焼けつく庭石を  
七色に光り蛸走りぬ  
年々を沈丁花香る家なりき  
伐られし早春をひとり淋しむ

### 【一般投稿】

梅雨寒やくしゃみ止まらず車とめ  
お帰りと庭のあじさい吾迎え  
雨上り虹のかけ橋わたりたや  
図書館で暫しうたた寝至福とき  
大花火はしゃぐ娘の声下駄の音  
地すべりや為すすべもなく只ひとり  
カラフルに装い老いを遠ざける  
何ひとつ持たずに走る虹の橋  
根性は涙の粒で太くなる  
草いきれ祖母の待つあの白い路  
ひまわりも頭をたれる被災の地  
はじめてオオワリか喜寿の同窓会  
学童のあれを頂戴赤トマト  
梅仕事ラッキョウ漬けと水無月は  
多忙に過ぎて唇変わりぬ  
ふるさとへ辿りてみれば友なくて  
ただ潮の香に路迷う  
造幣局修学旅行思い出す  
今は桜も人のおおさよ  
許斐山そびらにゆつくりトラクター  
泥ならしつっ植代をなす

古賀新太郎 安部敏朗 宮本瞳 都合スミ 藤井和子 佐藤碧晶 中原恵子 佐々木牙子 中島久次 本間碧境 吉川碧潮 土反田幸重 川本幸重 坂口怜子 森脇一枝 阿部英子 佐々木和彦

(敬称略)

投稿する場合、氏名と作品の常用漢字以外等には、必ず振り仮名をふってください。